

◇ 注意事項

1. 吸水が激しい下地等は、セルタイト# 10・4～5倍希釈液を塗布して施工して下さい。尚、ALC板は吸水が激しいので2回塗布してから施工して下さい。
2. 気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、凍結しないように配慮して施工して下さい。
3. 1時間以上練り置いた材料は使用しないで下さい。
4. 一度の最大塗り厚の目安は、壁7mm程度、床10mm程度で、所定の塗り厚まで重ね塗りして下さい。
5. 吸水のある下地にセルタル混入モルタルで下地調整を行う場合、その上へのモルタル施工は乾燥しないうちに行ってください。
6. セルタル混入モルタルの施工前に下地の脆弱部・ホコリ・汚れ・黒ノリ・ボンド等を完全除去して下さい。
7. 溶剤型仕上げ材を使用する場合、養生期間4～5日置いて完全硬化させてから、次工程に移って下さい。
8. 使用したコテ等の道具は直ちに水洗いして下さい。
9. 特殊下地の場合（FRP、ステンレス、アルミ等）、専用プライマー（CRプライマー E-6000）をご使用下さい。
10. 新設～3年程度のアスファルトは、油分によって「浮き」「はくり」を起こす場合がありますので御使用は控えて下さい。

取扱い上の注意事項と応急処置

1. 目に入ったり、皮膚に触れたりすると炎症を起こすことがありますので、保護眼鏡、保護手袋等を着用して下さい。
2. 目に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗浄し、医師の手当を受けて下さい。
3. 皮膚に触れた場合は、付着した部分を水または微温湯で十分洗浄して下さい。
4. 万一飲み込んだ場合は、診断を受けるまでの間に牛乳か水を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の手当を受けて下さい。

保管上の注意事項

1. 直射日光および凍結を避けて保管して下さい。
2. 使用後の残液は缶を密閉して保管して下さい。

◎ホルムアルデヒド放散等級表示登録書

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	309018
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.Nsk-web.org/

◎当商品は、以下の製品の何れも使用しておりません。

①ユリア樹脂・②メラミン樹脂・③フェノール樹脂・④レゾルシノール樹脂

⑤ホルムアルデヒド系防腐剤・⑥メチロール基含有モノマー・⑦ロンガリット系触媒

◎このカタログの記載内容は2010年5月現在のものです。製品の改良のためにことわりなく仕様変更する場合があります。

◎このカタログ記載の数値は、規格値及び測定時の数値です。保証値ではありません。

廃棄上の注意事項

1. 内容物を廃棄する時は、産業廃棄物処理業者に処理を委託するか、焼却により処理して下さい。下水、河川、湖沼等への廃棄は絶対に避けて下さい。
2. 容器を廃棄する時は、中身を完全に除去して下さい。

漏出時の注意事項

1. 少量流出の場合は、布、おが屑、砂などに吸収させて回収して下さい。
2. 大量流出の場合は、間に合わせの土提を作るなどして拡散を防ぎ、容器に回収するかバキューム車で汲み上げて下さい。
3. 河川、湖沼への多量流出した場合は、広範囲に白濁汚染を起こす恐れがありますので、地方自治体の担当者に直ちに連絡して下さい。

*詳しくは、製品安全データシート（MSDS）をご参照下さい。

荷 姿

- 18Kg ペール缶入り
18Kg 角缶入り
3Kg×6ヶ ダンボールケース入り

●特約店

DAICEL ダイセルミライズ株式会社

産業資材営業部（大阪支店）

【本 社】
〒108-8231 東京都港区港南 2-18-1 JR 品川イーストビル
TEL 03-6711-8513 FAX 03-6711-8516

【大阪支店】
〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB
TEL 06-7639-7471 FAX 06-7639-7477

URL : www.daicelmiraizu.com

2010.6.4000(A)

S B R
(合成ゴムラテックス)

モルタル混入用(カチオン性樹脂モル)

セルタル



DAICEL ダイセルミライズ株式会社

◇ セルタル・補修、改修、外装タイル張り付けモルタル用混和材

セルタルはSBR（合成ゴムラテックス系）の補修、改修、外装タイル張り付けセメントモルタル用混和材です。

セルタルをセメントモルタルに混入することにより接着性・防水性・耐薬品性・耐摩耗性・耐久性を大幅に改善することができます。

- ◇ 特 長
- 1. 収 縮 率 減 少：減水効果があるために、モルタルのひび割れ防止効果が向上します。
 - 2. 物 理 的 強 度：接着強度、曲げ強度、圧縮強度、耐摩耗性、耐衝撃性等が向上します。
 - 3. 化 学 的 特 性：凍結融解性、耐透水性、耐酸性、耐アルカリ性が向上します。
 - 4. ブリージング減少：表面皮張り現象がない。
 - 5. 保 水 性：水保ちが良く保水性が向上します。
 - 6. 作 業 性：薄塗りができ、コテ作業性が優れています。

◇ 性 状

項 目	規 格 値	
不揮発分 (%)	45.0～46.0	
粘 度 (mPa・s)	1000～1600	20℃
pH	7.0～8.0	pHメーター

◇ 性 能 (JIS A 6203)

試 験 項 目	単 位	試 験 結 果
単 位 容 積 質 量	kg/ℓ	1.96
曲 げ 強 さ	N/mm ²	13.1 N/mm ²
圧 縮 強 さ	N/mm ²	45.3 N/mm ²
接 着 強 さ	N/mm ²	2.4 N/mm ²
吸 水 率	%	1.5%
透 水 量	g	0.3g
長 さ 変 化 率	%	0.042%

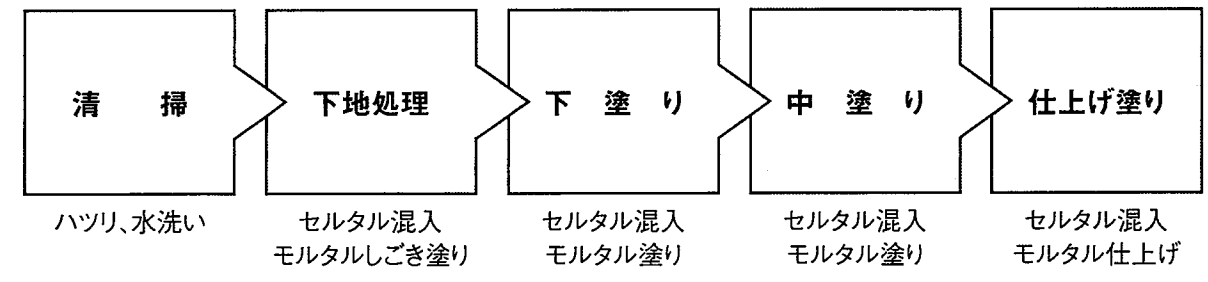
(財)日本塗料検査協会

標 準 調 合 表 (例)

工 法	セメント (kg)	硅砂 (kg)	川砂 (kg)	セルタル (kg)	水 (kg)	セルブレン (g)	塗り厚 (m/m)	塗り面積 (m ²)	摘 用 箇 所
下 地 処 理	25	#5 20	－	5	10	18	1	38	躯体の下地処理・屋上防水下地処理等
	25	#5 20	－	8	8	18	1	38	タイル・ウレタン・エポキシ・アスファルト・鉄部・吹き付け下地処理等
下 塗 り	25	－	50	4	12	18	5～6	4	タイル下地モルタル等
中 塗 り	25	－	63	4	12	18	8～10	5	タイル下地モルタル・躯体の補修・改修等
	25	－	75	4	12	18	10	6	床・鉄骨階段・タイル張り・床補修・改修等
仕上塗り	25	#7・8 25	－	5	10	35	2	21	しごき・薄塗り仕上げ・ファイラー工法・合板仕上げ等
張 り 付 け 用	25	#5・6 15	－	3	6	35	3	8	内装モルタル・モザイクタイル張り等
	25	#5・6 25	－	3	6	35	5	10	小口平タイル・二丁掛けタイル張り等

- 1) セルタル混入モルタルは、ほとんどすべての下地によく接着します。
- 2) 適用箇所に応じて上記標準調合表（例）を参考にして下さい。
- 3) 溶剤系の仕上げ材を施工する場合、御相談下さい。

◇ 標準施工手順 (例)



- 1) 清掃後、予め工法（用途）に応じた希釈液（セルタル1：水1又は2）を作ってから混入し、満遍なく行き渡るよう丁寧に攪拌して下さい。
- 2) 仕上げ養生後、表面化粧仕上げを行って下さい。（塗り付、吹付、タイル張り等）